

企業の販路拡大 震災復興を応援

仙台育英高は今月中にも、高校生が運営する東北初のオンラインショップ「グモール」「せんだいまなびや」を開設する。多賀城市の多賀城校舎にある技能開発コースの生徒がホームページ(HP)を運営しながら営業活動をし、東日本大震災(16)は「初の営業は、とて

災で被災した石巻地区の企業の販路拡大に役立てる。「まなびや」は、情報ネットワーク社会を生きるための実践型授業。生徒が営業活動して、地域の企業の製品を展示・販売するHPを制作する。実際の電子商取引に関わることで責任感と達成感を持ちながら、コ

コミュニケーション力や課題解決力を育む。

も緊張した。授業が社会に役立つと思うと、わくわくする」と話した。

最初の活動として「震災復興応援プロジェクト」をスタートさせた。再建後も業績が回復せず、倒産する現状の改善を目指す。被災企業の月5000円のHP出店料は半年間無料にす

仙台育英高 ネット商店街開設へ

企業担当者(手前)に「まなびや」のHPを見せながら説明する仙台育英高の生徒



る。
10月に多賀城校舎であった説明会には、被災企業約10社が参加。担当者は「再建には販路確保や人手不足の問題がある。まなびやの活動に期待している」と述べた。